

平成27年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	保育教諭研修
日 時	9月8日（火）1・2限目 9/16（水）1～4限目
担当科目名	<ul style="list-style-type: none">・開講の経緯・目的・課題について・ガイダンス・乳幼児教育の基礎・保育参観・まとめ
担当講師名	岡林 恭子
講義のあらまし	<ul style="list-style-type: none">1・乳幼児教育の基礎<ul style="list-style-type: none">・乳幼児期の特性・乳幼児期にふさわしい生活・環境を通して行う教育・保育のあり方2・保育参観・まとめ<ul style="list-style-type: none">・認定こども園にて見学実習・保育の実際を把握するとともに、保育で心がけていること大切にしていることを学ぶ・質疑応答・まとめ
持ち物・服装等注意点	保育参観の際に上靴持参
受講に際しての注意点・事前準備等	子どもたちの活動の邪魔にならないよう気をつける

平成27年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	保育教諭研修
日 時	9月8日（火）3・4限目
担当科目名	乳幼児の発達の理解
担当講師名	丸山真名美
講義のあらまし	<p>こども園というこれまでの就学前の子供たちが過ごしてきた保育園、幼稚園とは異なる環境における保育がはじまる。</p> <p>保育者たちにとっては新たな保育のあり方を考える必要が出てくる。</p> <p>本講義では発達のメカニズム等についての、基本を確認した上で発達と環境の関係について考えることを目的とする。</p>
持ち物・服装等注意点	なし
受講に際しての注意点・事前準備等	なし

平成27年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	保育教諭研修
日 時	9月9日（水）2限目
担当科目名	人権教育について
担当講師名	上川清玄
講義のあらまし (200字程度)	講義テーマの「人権について」を「子どもの権利擁護」の視点から構成する。まず、「児童の権利を保障する主な法律」に触れ、次にわが国における「子どもを取り巻く現状と社会的養護」について概括し、社会的養護の担い手である児童養護施設における現状と課題に触れる。その上で児童養護施設「岡崎平和学園」における権利擁護の取り組み-安全委員会方式の展開」を柱として伝えていきたい。
持ち物・服装等注意点	筆記用具
受講に際しての注意点・事前準備等	

平成27年度愛知県現任保育士研修シラバス

<p align="center">担当研修名</p>	<p align="center">保育教諭研修</p>
<p align="center">担当科目名</p>	<p align="center">教育・保育課程と指導計画</p>
<p align="center">担当講師名</p>	<p align="center">塩崎美穂</p>
<p align="center">講義のあらまし</p>	<p>「保育教諭」が必置である認定こども園では、保育所保育指針と幼稚園教育要領との整合性を図り、環境を通して行う保育・教育を基本とすることが目指されている。従来通り、保育園や幼稚園で行ってきた健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域を保育内容として維持し、小学校での教育との円滑な接続や、乳幼児期にふさわしい生活を通じ創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うことが目指されてもいる。</p> <p>ただし、0歳から小学校就学前までの一貫した保育および教育を発達の一貫性を考慮して展開することや、生活の連続性や生活リズムの多様性に配慮し、在園時間・入園時期・登園日数の違いを踏まえ、一人一人の状況に応じて保育・教育を工夫することについては、認定こども園において、あらたに保育・教育課程、指導計画のなかに盛り込まれることが期待されてもいる。</p> <p>保育時間の異なる子どもと保育・教育を創造していけるよう、一人ひとりの子ども姿／子どもの暮らしに即した保育カリキュラムの考え方、職員間での保育計画の共有方法など具体的な学びを深めたい。</p> <p>それぞれの園からもちよった現在の保育課程や指導計画を確認しつつ、認定こども園を何年か続けてきている先行実践園の事例を取り上げ紹介し、今後の保育の見通しについても考える。</p>
<p align="center">持ち物・服装等注意点</p>	<p>現在、保育をする際に使用している「教育課程」「保育課程」「指導計画」を持参してください。クラス別のもや園全体のもの、職員間で共有している「なくてはならない書類（メモ）」「子どもの記録」なども、あれば持ってきてください。</p>
<p align="center">受講に際しての注意点・事前準備等</p>	

平成27年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	保育教諭研修
担当科目名	特別な教育的配慮を要する幼児の理解
担当講師名	河野 順子
講義のあらまし	特別な教育的配慮を要する幼児は、その特性理解に基づいた個別対応が必要とされる。講義では、対人関係、コミュニケーション、行動の観点から特性をとらえた上で、支援の基本と方法について理解を深める。子どもの行動をどのように理解するか、その理解に基づきどのように対応するかについて学ぶとともに、子どもたちに理解しやすい環境構成についても考えたい。
持ち物・服装等注意点	特になし
受講に際しての注意点・事前準備等	特になし

平成27年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	保育教諭研修
担当科目名	保育内容や方法・環境構成 幼児とのかかわり方・遊びの捉え方と環境構成
日 時	9月15日（火） 3・4限目
担当講師名	渡辺 桜 吉田 龍宏
講義のあらまし	<p>認定こども園は幼稚園や保育所と同じ集団保育をする施設です。 この講義では、認定こども園「保育要領」にある保育の基本となる考え方を踏まえて、日常の保育実践で大事にしたいことを参加者の皆さんとともに、具体的に考えていきたいと思います。</p> <p>具体的には以下の通りです。</p> <p>①□育教諭の実践で大切なことってなんだろう 集団保育における子どもと保育教諭の関係 「ノリ」の共有＝同調・応答の関係 ②遊び保育はなぜ大事？ 遊びの捉え方と遊び保育に必要な考え方</p> <p>③VTR記録から保育について考えてみよう VTRの実践記録を見て、グループで話し合います</p> <p>④気づきとまとめ 話し合いを通して考えたことを皆さんで情報交換しましょう また、日常の保育の課題と今日の気づきをつなげてみましょう</p>
持ち物・服装等注意点	この講義では吉田・渡辺著「遊び保育のための実践ワーク」（萌文書林 2014）の内容に基づいて展開します。お持ちの方はご持参いただくと、より研修内容の理解が深まると思います。
受講に際しての注意点・事前準備等	この講義では参加される方で保育事例を見て話しあったり、情報交換をしたりする時間があります。いつも多くの子どもを対象として保育をされている中で、悩んだり課題に思っていることをまとめてみてください。